広報 滋賀 県身協（けんしんきょう）

平成29年1月1日

115

平成28年4月1日から障害者差別解消法が施行されました

12月3日～9日は障害者週間です

新年のご挨拶……2
第66回滋賀県身体障害者福祉大会……3～4
障害者理解を深めるための研修会、青壮年部地域交流会、事務局日誌…5
第36回日身連近畿ブロック福祉大会・第18回日身連近畿ブロック身体障害者相談員研修会、地域文化・スポーツ交流促進事業、わが地域の「がんばり日記」等…6
各種お知らせ等……7
障害者福祉センターコーナー……8～11
クイズコーナー・編集後記……12

滋賀県立障害者福祉センターのご案内

ご利用時間　午前9時30分～正午・午後1時～ 4時30分・午後5時30分～ 8時30分
休　所　日　月曜日（休日を除く）・「休日」の翌日（土曜日・日曜日または「休日」である場合を除く）・12月29日～翌年1月3日・管理者の指定日時
電話 077-564-7327　FAX 077-564-7641
E-mail:webmaster@shiga-fukushi-center.com
http://www.shiga-fukushi-center.com/

第66回 滋賀県身体障害者福祉大会　平成28年11月6日（日）　高島市民会館

新年あけましておめでとうございます
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

新年のごあいさつ

公益財団法人　滋賀県身体障害者福祉協会
会　長　　中　村　　裕　次

明けましておめでとうございます。

新年を迎え、滋賀県身体障害者福祉協会に多大なご理解とご協力をいただいております関係者の皆様方に、心より新春のお慶びを申し上げます。

また、昨年は、第66回滋賀県身体障害者福祉大会や障害者週間啓発・推進事業を始め、数多くの事業を無事終えさせていただくことができましたのも、会員の皆様方をはじめ、多くの関係各位の温かいご支援の賜物と深く感謝しております。

さて、国においては、昨年4月に障害者差別解消法、改正障害者雇用促進法が施行され、障害を理由とした差別の解消等に向けて新たなスタートが切られ、5月には障害者の地域生活の一層の支援のため、改正障害者総合支援法が成立しました。

また、県においては、県民への障害者差別解消法の啓発が図られるとともに、「みんなでいっしょに働き、みんなとまちで生きる」を基本理念とした「滋賀県障害者プラン」に基づき、施策の推進が図られています。

しかし、障害者を取り巻く環境はまだまだ厳しく、障害者が地域で自立した生活を送るためには、福祉サービスの利用面、バリアフリー化面、情報アクセシビリティの面、雇用の面等で課題が残されています。

当協会といたしましては、当事者団体として、こうした課題について関係機関・団体等と連携を図り、制度や施策に反映されるよう取り組みを進めて参ります。また、協会の組織基盤である地域等における高齢化や会員の減少等の課題においては、各地域と連携し組織の活性化に向けた活動を支援するとともに、協会の中核的組織である青壮年部活動や社会参加推進支援活動を一層推進していく所存です。

本年も、公益財団法人として、不特定多数の障害者の方々の利益の増進に寄与できるよう活動を強くアピールし、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し支え合う共生社会の実現に向けて、地域の皆様とともに積極的に取り組んでまいりたいと存じますので、一層のご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年が皆様にとって幸多い年となりますとともに、ますますのご健勝とご活躍を心よりお祈りいたしまして、私の新年のごあいさつといたします。

・・・

第66回 滋賀県身体障害者福祉大会

11月6日(日)に高島市民会館において、「第66回滋賀県身体障害者福祉大会」を開催しました。当日は、ご来賓の方々をはじめ、約650名もの多くの方にご参加をいただき、盛大に開催することができました。

式典では、ご来賓の方々のご挨拶と平成28年度滋賀県知事表彰および(公財)滋賀県身体障害者福祉協会長表彰の授賞式が執り行われ、長年にわたり身体障害者更生援護事業に貢献された方、その障害を克服し自立更生された方あわせて30名の方が表彰されました。

続いて、議事では、今大会の宣言と6項目の決議について参加者の御賛同を得て採択されました。内容は、４頁のとおりです。

式典終了後は、高島フルートサークルの皆様によるフルートの演奏があり、琵琶湖周航の歌をはじめ６曲を演奏していただきました。最後は、「見上げてごらん夜の星を」を参加者全員で合唱しました。続いて、美濃佳奈子様の指導のもと「笑いヨガ」を体験していただき、会場が「ワッハッハ(^o^)」の笑い声でいっぱいになりました。参加者の皆様には、大変楽しい時間を過ごしていただくことができました。

大会の開催にあたっては、大変多くの皆様にボランティアでご協力いただくなど、多くのご支援をいただき本当にありがとうございました。

来年は、平成29年10月22日(日)にひこね市立文化プラザにおいて、「第67回滋賀県身体障害者福祉大会」の開催を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

～高島フルートサークル～

～笑いヨガ～

～授賞式～

平成28年度 滋賀県知事表彰・被表彰者

更生援護功労者			
市町名	氏名	市町名	氏名
大津市	長田 由美子	甲賀市	井場 道夫
彦根市	中川 壽美子	東近江市	脇 眞澄
草津市	竹村 勇	高島市	北野 彌左衛門
守山市	加藤 善彦	日野町	大橋 守一

自立更生者			
市町名	氏名	市町名	氏名
大津市	前田 眞理	東近江市	川元 喜代司
大津市	脇 巌雄	高島市	林 俊博

平成28年度 公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会 会長表彰・被表彰者

更生援護功労者			
市町名	氏名	市町名	氏名
大津市	島田 由美	甲賀市	井上 房子
彦根市	右近 勝	甲賀市	藤橋 克己
彦根市	小山 明人	東近江市	西村 利彦
彦根市	冨田 美幸	高島市	松井 清
長浜市	北川 正子	高島市	山本 重夫
湖南市	愛甲 彊	愛荘町	徳田 稔
湖南市	古梅 教正		

自立更生者			
市町名	氏名	市町名	氏名
草津市	村上 正廣	東近江市	横畝 温志
甲賀市	中瀬 初子	多賀町	脇坂 岩男
甲賀市	増山 茂美		

第66回 滋賀県身体障害者福祉大会　大会スローガン

- 県民・事業者に障害者差別解消法の理解が深められるよう働きかけよう
- 避難行動要支援者の個別支援計画が早期に完成され、実効性のある避難支援体制が整備されるよう働きかけよう
- ユニバーサルデザインのまちづくりを目指し、公共交通機関、道路、公共施設等で着実に取り組まれるよう働きかけよう
- 事業所において法定雇用率が達成されるよう、合理的配慮の提供により安心して働き続けられるよう働きかけよう

第66回 滋賀県身体障害者福祉大会宣言

障害者差別解消法が本年４月に施行され、広く社会に浸透が図られるとともに、あらゆる分野の施策に反映されることが必要となっている。相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向けて、必要な仕組みが一定整備され取り組みが推進されているものの、まだまだ課題が残されている。

このような時に、県内から多くの障害者の参加のもと「第６６回滋賀県身体障害者福祉大会」を開催し、障害当事者の思いと願いを結集しアピールすることは大変意義深く、この大会を一つの契機として、障害者差別解消法が県民や事業者に理解が深められるよう、自らも取り組みを進めるとともに、これからも障害者が一致団結し、法制度や施策の充実を提言するなど重要な活動を推進しなければならない。

本大会に参加した私達は、障害者の自立と社会参加を一層推進するため、実践に努めていくことを誓い、ここに宣言する。

平成28年11月6日

公益財団法人　滋賀県身体障害者福祉協会
第　６　６　回　滋賀県身体障害者福祉大会

第66回 滋賀県身体障害者福祉大会決議

1. 障害者差別解消法の施行後も、県民や事業者に理解が深められるよう積極的な周知啓発に努められたい。また、法の目的を補完し実効あるものとするため、差別の定義や紛争解決の体制を定めるとともに、共生社会の実現に向けて施策の推進を図る県条例を制定し推進されるよう要望する。

2. 災害対策基本法に基づき、市町において、避難支援等関係者に障害者相談員等を含め、避難行動要支援者の個別支援計画を早急に完成されるとともに、日頃から障害者相談員等への避難行動要支援者名簿の情報提供により、実効性のある避難支援が行われるよう要望する。また、福祉避難所の耐震性の確保、箇所数の拡大、人的支援等の避難支援体制の充実を要望する。

3. ユニバーサルデザインのまちづくり実現のため、福祉滋賀のまちづくり条例やバリアフリー法に基づき、関連する制度や関係機関等との整合・連携を図り、公共交通機関、道路、公共施設等において整備が推進されるよう要望する。

4. 聴覚障害者や視覚障害者等に対する、外出・移動を支援する同行援護・移動支援事業や意思疎通を支援する意思疎通支援事業の給付については、必要とするサービスを受けられるよう要望する。また、災害時や緊急時等における情報アクセシビリティや意思疎通の確保が図られるよう要望する。

5. 障害者の法定雇用率の達成を図るとともに、一般就労への移行促進や職業訓練の充実により就職率の向上を図られたい。また、改正障害者雇用促進法に基づき、障害者が差別を受けず合理的配慮の提供により、安心して働き続けることができるよう、事業主に対する周知徹底を要望する。

6. 障害のあるなしに関わらず人格と個性を尊重し支えあう共生社会の実現に向け、重要な学校教育において、障害に対する理解を深める「心のバリアフリー」学習を、障害のある人との交流等を通して、より一層充実強化されるよう要望する。

以上決議する

平成28年11月6日

公益財団法人　滋賀県身体障害者福祉協会
第　６　６　回　滋賀県身体障害者福祉大会

平成28年度滋賀県障害者社会参加推進センター障害者理解を深めるための研修会 障害者差別解消法ってなぁに？　～暮らしが良くなっていくための工夫の積み重ね～

お知らせ

障害者理解を深めるための研修会を開催します。障害のあるなしにかかわらず、人権と個性を尊重し支え合う共生社会について考えてみませんか？

今年は、ＮＨＫ　Ｅテレ 障害者のための情報バラエティー「バリバラ」にレギュラー出演中の玉木幸則氏による講演を予定しています。皆様のご参加をお待ちしています。

詳細およびお申込みにつきましては、当協会までお問い合わせください。

日　時： 平成29年2月19日(日) 14時～ 16時
場　所： 草津市立市民交流プラザ　大会議室
（草津市野路一丁目15番5号フェリエ南草津5階）
内　容： 「障害者差別解消法ってなぁに？
～暮らしが良くなっていくための工夫の積み重ね～」
講　師： 社会福祉法人西宮市社会福祉協議会
障害者総合相談支援センターにしのみや　センター長　玉木　幸則　氏
主　催： 滋賀県、滋賀県障害者社会参加推進センター
〈事務局　(公財)滋賀県身体障害者福祉協会〉
後　援： 草津市　　**定　員：** 先着130人
対　象： 一般県民　　**参加費：** 無料

障害者差別解消法を知っていますか？
この法律では「不当な差別的取扱い」を禁止し、「合理的配慮の提供」を求めています。そのことによって、障害のある人もない人も共に暮らせる社会を目指しています。

平成28年度(公財)滋賀県身体障害者福祉協会青壮年部地域交流会

お知らせ

青壮年部地域交流会を守山市と野洲市の障害のある方、当青壮年部活動に関心のある方との交流を深めることを目的に開催します。私たちと一緒にスポーツ・レクリエーション体験をしてみませんか？青壮年部は、皆さんの参加をお待ちしています。是非、ご参加ください。

詳細につきましては、当協会までお問い合わせください。

日　時： 平成29年2月5日(日) 10時30分～ 15時
場　所： 守山市生涯学習・教育支援センター(エルセンター)
（守山市勝部三丁目9番1号）
内　容： 青壮年部活動紹介・守山市身体障害者連合会活動紹介
スポーツ・レクリエーション体験
・ボッチャ　・カローリン
対　象： 守山市・野洲市の障害のある人、
青壮年部活動に関心のある人
定　員： 50人程度
参加費： 無料(但し、昼食代700円をご負担いただきます)

事務局日誌

平成28年10月～12月

月　日	会議・行事内容
10月 1日(土)	第27回夏まつり実行委員会
	第4回青壮年部役員会
10月14日(金)	第66回滋賀県身体障害者福祉大会第3回実行委員会
10月20日(木)	第5回三役会
10月26日(水)	第4回理事会
10月31日(月)	第36回日身連近畿ブロック福祉大会 第18回日身連近畿ブロック身体障害者相談員研修会
11月 6日(日)	第66回滋賀県身体障害者福祉大会
11月 7日(月)	福祉大会決議要望(県議会)
11月15日(火)	福祉大会決議要望(県議会)
11月16日(水)	滋賀県公益認定等委員会公益法人立入検査

月　日	会議・行事内容
11月25日(金)	障害者週間啓発活動
11月26日(土)	障害者週間啓発活動
11月27日(日)	障害者週間啓発活動
12月 1日(木)	日本身体障害者団体連合会平成28年度第2回定例理事会
12月 3日(土)	障害者週間啓発活動
12月 4日(日)	障害者週間啓発活動
12月10日(土)	青壮年部研修交流会
	第5回青壮年部役員会
12月15日(木)	日本身体障害者団体連合会平成28年度臨時評議員会
12月20日(火)	福祉大会決議要望(県知事・関係部局)
12月21日(水)	第66回滋賀県身体障害者福祉大会第４回実行委員会

第36回 日本身体障害者団体連合会近畿ブロック福祉大会
第18回 日本身体障害者団体連合会近畿ブロック身体障害者相談員研修会

報告

10月31日(月)京都テルサにおいて、第36回日本身体障害者団体連合会近畿ブロック福祉大会および第18回日本身体障害者団体連合会近畿ブロック身体障害者相談員研修会が開催され、本県から34人が参加しました。

午前の福祉大会では、障害者権利条約の規定を反映した高い水準での障害者施策の推進や、「障害者差別解消法」の施行に際して、国の責務において広く社会に浸透が図られるように同法の周知と相談・紛争防止等の体制の整備の充実に最大限の努力をされること、また、障害者相談員にかかる身分等法制度の充実強化等11項目の大会決議が採択されました。

午後からは、厚生労働省障害福祉課課長補佐の照井直樹氏による「障害保健福祉施策の動向」という演目で講演が行われ、障害者総合支援法施行3年後の見直し、計画相談支援の実施状況や就労支援等について説明していただきました。来年度は堺市での開催となります。

地域文化・スポーツ交流促進事業

報告

10月13日(木)に平成２８年度地域文化・スポーツ交流促進事業を開催しました。彦根市、日野町、甲賀市の各市町身体障害者更生会が障害者福祉活動をお互いに理解・共有し、いきいきと暮らせる明るい地域社会づくりをめざすことなどを目的に開催し、59人が参加して親睦を深めました。

開会のあいさつ、参加者自己紹介および三市町更生会の活動紹介のあと、それぞれの事業等への質問や抱えている課題・問題等について意見交換を行いました。

昼食後は、軽スポーツ体験として、「ふうせんバレーボール」と「カローリング」を行うことで、三市の枠を越えた交流を図ることができ、盛会のうちに終えることができました。

参加者の声

・他の市町の方と意見交換ができて良かった。
・初めてカローリングを体験しました。楽しかった。

わが地域の「がんばり日記」

「平成28年度秋季グラウンドゴルフ大会」を開催しました！

日野町身体障害者更生会

11月7日(月)に、恒例行事である「秋季グラウンドゴルフ大会」を日野町内にある音羽城跡公園で開催しました。

大会当日は、快晴無風の好条件の中、17人が参加されました。8ホールのコースを2つ設定し、4組に分かれてスタートし、2ラウンド終わったところで昼食休憩をとりました。周りの景色を満喫しながら食べたお弁当は格別に美味しく、大満足でした。

午後からも２ラウンド行い、スコアを集計し、表彰と閉会式を行いました。閉会式のあとは、皆で協力して後片付けをし、無事に終えることが出来ました。

この音羽城跡公園は、広い芝生の一角にブランコやシーソーなどの遊具があり、子どもと一緒に家族で楽しめる素晴らしいところです。ぜひ一度お越しください。

各地域・団体の活動報告

月　日	主　催	行事内容
10月 2日(日)	東近江市身体障害者厚生会	東近江市身体障がい者ふれあいのつどい
10月16日(日)	大津市身体障害者更生会	第44回大津市身体障害者更生会運動会
10月21日(金)	滋賀県視覚障害者福祉協会	滋賀県視覚障害者福祉大会 団体結成90周年・点字図書館開設60周年記念大会
11月 7日(月)	日野町身体障害者更生会	秋季グラウンドゴルフ大会
11月23日(水・祝)	滋賀県難病連絡協議会	第8回難病のつどい
11月30日(水)	滋賀県視覚障害者福祉協会	第2回理事会
12月 2日(金)	米原市障害者福祉協会	米原市障害者福祉協会会員交流グラウンドゴルフ大会
12月 4日(日)	東近江市身体障害者厚生会	第12回クリスマス会

12月6日(火)、厚生労働省で行われた障害者自立更生等厚生労働大臣表彰式典において、当協会副会長の藤本俊治様(甲賀市)が、長年にわたる活動を認められ、身体障害者更生援護功労者に対する厚生労働大臣賞を受賞されました。ご報告させていただきますとともに心からお祝い申し上げます。

受賞者の声

障害者になり50年。多くの人達に支えてもらい、受賞することができました。心より感謝申し上げます。今後も一生懸命頑張ります。

訃　　報

当協会の顧問として、協会運営の相談役としてご尽力いただいた酒井吉男氏が、10月13日(木)にご逝去されました。酒井氏は、当協会第6代会長として、平成15年度から平成17年度まで協会運営にご尽力いただきました。
謹んでご冥福をお祈りいたします。

当協会の評議員として、ご尽力いただいた甲賀市の村木洋次郎氏が、10月18日(火)にご逝去されました。村木氏は、長年にわたり当協会の青年部役員として、また甲賀市の役員として、事業実施にご尽力いただきました。
謹んでご冥福をお祈りいたします。

「熊本地震」被災地への義援金について

熊本地震被災地への義援金として、当福祉センターで開催しました「第２６回夏まつり」および受付「義援金箱」で皆様にご協力いただきました義援金を日本身体障害者団体連合会を通じて、被災地の障害者団体へ送金させていただきました。
ご協力いただいた皆様にお礼申し上げますとともに、ご報告させていただきます。

●義援金：106,584円

ＪＲジパング倶楽部特別会員制度への入会について

①会員の特典
◆ＪＲ線を「片道、往復、連続」のいずれかで201km以上利用する場合に使えます。身体障害者手帳により購入できるふつう乗車券以外の一定の特急券・急行券・グリーン券・座席指定券が割引購入できます。

②加入資格
◆身体障害者手帳の交付を受けている方で、男性は満60歳以上、女性は満55歳以上の方が対象となります。（介護者の割引については、第一種身体障害者の介護者のみ同様の割引が受けられます。）

③年会費
◆お一人様1,350円です。（入会金はいりません。）

④入会手続き
◆詳細およびお申込みにつきましては、当協会までご連絡ください。

申込み・問い合わせ先

（公財）滋賀県身体障害者福祉協会
〒525-0072　草津市笠山八丁目5-130
ＴＥＬ：077-565-4832
ＦＡＸ：077-564-7641
E-mail：info@kenshinkyo-shiga.com

振り込め詐欺に注意!!
オレオレ詐欺、還付金詐欺が急増

すぐに振り込まず、まず事実の確認と相談を!!

躍進する技術……信頼される技術
電気設備工事
特定建設業　山中電工株式会社
〒520−0837　大津市中庄一丁目17−39
TEL (077) 522−8038
FAX (077) 522−8099

Welcab トヨタレンタカーの福祉車両

TOYOTA トヨタレンタリース滋賀
フリーダイヤル 0120-101-345
http://www.trl-shiga.jp

nakaspo
㈱中山スポーツ

〒520-0863
滋賀県大津市千町1丁目25−25
電話077−534−2525
FAX077−533−2338
http://www.nakaspo.com

障害者福祉センターコーナー

事業案内

スポーツ吹矢大会を開催します！

スポーツ吹矢大会を開催します。日頃の練習の成果を発揮してみませんか？ぜひ、ご参加ください。

日　　時：平成29年3月20日（月・祝）13:00 ～ 16:00
場　　所：当福祉センター　アリーナ
対 象 者：障害のある人、障害のない人でスポーツ吹矢をしたことのある人
定　　員：先着44人（障害のない人は最大15人まで）
費　　用：無料
受付時間：平成29年1月24日（火）～ 3月5日（日）

前年度の参加者の声

・初めて参加しましたが、大変充実できました。
・来年も参加したい。今後とも続けてください。

「琵琶湖一周に挑戦！」「日本縦断に挑戦！」授与式のご案内・挑戦者募集

授与式のご案内

日　時：平成29年2月12日（日）13:00 ～
場　所：当センター会議室
対象者：①平成28年1月6日（水）～ 12月28日（水）の期間に琵琶湖一周・日本縦断を達成された方
②上記の期間中に50回以上挑戦された方
※対象者の方には別途通知いたします。

挑戦者募集

障害の有無や年齢を問わず、多くの方々が琵琶湖一周・日本縦断に挑戦されています。到達距離は年度をまたいで通算されます。あなたも琵琶湖一周・日本縦断に挑戦してみませんか。

前年度の参加者の声

＜琵琶湖一周に挑戦＞

今までの累計距離で琵琶湖一周を20回以上達成しています。今後はもっと達成回数を重ねていきたい。

＜日本縦断に挑戦＞

今年に初めて日本縦断を達成することができました。昨年メダルを授与されている人を見て、「自分もメダルが欲しい」と思ってたので、大変うれしいです。

平成29年度 年間日程調整会議

日　　時：平成29年2月19日（日）　10:00 ～
場　　所：当福祉センター 会議室
※原則として、会議前日までに日程が決定されている大規模な大会、行事等での有効な施設利用の調整を目的に開催します。

＜会議への参加対象団体＞

1. 障害者（児）または、その保護者等で組織する団体（組織）
2. 当福祉センター登録クラブおよび障害者で組織するスポーツ同好会
3. 障害者（児）施設、特別支援学校（特別支援学級を含む）
4. 障害者（児）に関わる行政、医療機関、団体等
5. その他、当福祉センター所長が特に必要と認めたもの
※会議によって対象を制限するものもあります。

＜調整の対象となる内容および優先順位＞

1. 県が主催、共催または主管する障害者を対象とした大会等の事業
2. 全国規模でかつ県内の障害者団体が主催、共催または主管する大会等の事業
3. 近畿規模でかつ県内の障害者団体が主催、共催または主管する大会等の事業
4. 県内の各障害者団体が主催、共催する年１回程度の大規模事業で、多数の参加が見込まれるもの（アリーナや会議室を全面必要とする大会、研修会等）
5. 県が主催、共催または主管する健常者も対象として開催する障害者（児）に関係する研修会等
6. その他、当福祉センター所長が特に必要と認めるもの
※上記に該当しない場合には、利用申請はできないものとします。

リオデジャネイロ　パラリンピック　滋賀県出身選手　結果報告

9月7日(水)から9月18日(日)までの期間、リオデジャネイロパラリンピックが開催され、滋賀県出身の3選手が、日本代表として出場されました。栗東市出身の木村敬一選手は、4個ものメダルを獲得され、湖南市出身の宮路満英選手、栗東市出身の近藤寛子選手も健闘されました。選手の皆さん、お疲れさまでした！そして、多くの感動をありがとうございました！！

パラリンピックでの記録

木村敬一選手

出場種目：水泳競技

競技結果：			
	50m自由形S11	26秒52(2位)	銀メダル獲得!
	100mバタフライS11	1分02秒43(2位)	銀メダル獲得!
	100m自由形S11	59秒63(3位)	銅メダル獲得!
	100m平泳ぎSB11	1分12秒88(3位)	銅メダル獲得!
	200m個人メドレーSM11	2分28秒76(4位)	

宮路満英選手

出場種目：馬術(個人規程・グレード１ｂ)

競技結果：58.966%(得点率)　11位

近藤寛子選手

出場種目：女子マラソン(視覚障害T11・T12混)

競技結果：3時間23分12秒　5位

木村選手、宮路選手、近藤選手が来所し、報告いただきました！

木村敬一選手コメント

～水泳記録会にて～

私にとって三度目の出場となったリオパラリンピックでは、「金メダルの獲得」を一番の目標とし、この4年間を過ごしてきた。「誰かに負けてもなれる」メダリストではなく、「誰に負けることも許されない」金メダリストが目標となったため、これまでとは比べ物にならないほど強い気持ちで、現地に乗り込んだ。

今大会は5種目に出場、中でも最も金メダルに近いと考えていたのが、3種目目の100mバタフライである。しかし、結果は銀メダルに終わった。

翌日の100m自由形予選の時には、前日の敗戦に対するショックと、蓄積された疲労から身体が動かず、みっともない記録で、かろうじて予選を通過した。予選終了後にコーチから「このまま決勝を泳いでもいいレースはできないし、他の選手に失礼だ。パラリンピックの決勝の舞台に、心も体も準備できていない選手は泳ぐべきではない。どうしても泳ぎたいのであれば、決勝までの半日、できるだけの準備をしろ。それならばこちらも最善を尽くしてスタート台に送ってやる」との叱責を受けた。ちなみに、風邪も引いていたので、ドクターからも「やめておけ」と言われた。それでも、私の中に「棄権」という選択肢はなかった。「なぜか」と聞かれても、「パラリンピックだから」という答えしか出てこない。そこには、結果だけではない、「この舞台で戦いたい」という自分の正直な気持ちが出てきたのだと思う。

近藤寛子選手コメント

「あきらめない」

リオ2016パラリンピック競技大会出場には、本当にたくさんの山あり谷あり。決して楽な道ではなかったです。

視覚に障害をもち、精神的に引きこもってしまっていた私を、外の世界へと導いてくれたマラソンで、まさか世界の舞台に躍り出ることになるとは夢にも思わなかったです。途中、怪我や故障で走れない日々が続いたり、身内の不幸で何度も走ることをやめようと思ったこともありました。本当につらかった！　でも、そのたび仲間や家族が支えてくれて、もう一度走りたい、私には走ることしかないと思わせてくれました。

マラソンは苦しいときを乗り越えれば、素晴らしいゴールがあります。リオでのゴール前、ラスト2キロは、33℃以上の暑さの中でほぼ限界の状態、日本中の皆さんの声援が最後まで背中を押してくれました。ゴールして倒れましたが、完全燃焼の走りでした。走ることを、そして人生を、あきらめなくて本当によかった！　そう思った瞬間でした。

これからも、あきらめない心をもって前に進んでいきたいと思います！

宮路満英選手コメント

2005年7月、脳出血で倒れ、右半身麻痺と高次脳機能障害の後遺症が残りました。12月に退院をして、「どうリハビリをしようか・・」と考えている時に滋賀県立障害者福祉センターを知りました。プールでの水中歩行やリハビリ教室、また文化教室に参加して、いろんな人と出会い、コミュニケーションがとれるようになり、目標ができました。日々を経て、その目標は「リハビリのための乗馬、そして、世界への挑戦」になりました。結果、いろいろな出会いやみなさんのご協力や応援で、リオパラリンピックに出場することができました。自分が馬の能力に追いつかず、成績がのびなかったことは「馬に申し訳ない」と思っています。

今後、もっと練習して2018年世界選手権、そして2020年東京パラリンピックに向けて頑張ります。

事業報告

グラウンドゴルフ大会

10月1日(土)、グラウンドゴルフ大会を開催しました。今年で三回目の開催となった大会ですが、前日の大雨によるグラウンドコンディション不良のため、当福祉センターアリーナで行いました。

普段屋外でプレーされている方は、勝手が違う室内でのグラウンドゴルフに悪戦苦闘されている様子でしたが、多くの方がホールインワンを達成され、大変盛り上がりました。また、時間の経過とともにグループ内の交流も深まり、「やったー！」、「すごい！」、「惜しい！」など様々な歓声が響きわたっていました。

参加者の声

・屋外でのプレーが不可能ということで残念でしたが、参加者や指導員、ボランティアの方々と交流することができ良かったです。また、日頃のストレスの解消にもなりました。

第33回水泳記録会

11月20日(日)に第33回水泳記録会を開催しました。今年は、第1部19人、第2部70人の参加がありました。

第1部の「25mに挑戦」では、水泳を始めたばかりの人が25m完泳を目指して一生懸命泳ぐ姿に、自然と大きな声援と拍手が沸き起こりました。また「水中レクリエーション」では、滑り台を滑り、大小の浮島の上を渡る特設コースを設けた「水中サーキット」とプールに入って行う「風船バレーボール」を実施し、障害区分を越えて楽しんでいただきました。

第2部では、各競技種目のタイムを測定する記録会を行いました。日頃の練習の成果を発揮し、自己新記録で喜ぶ姿や、リレー種目ではチームに関係なく応援する姿が見られ、会場が一体となり大いに盛り上がりました。

また、今回は「しがスポーツ大使」でリオデジャネイロパラリンピックで銀メダルを含む4つのメダルを獲得した木村敬一選手(栗東市出身)を招き、報告会のセレモニーと100m個人メドレーのデモンストレーションを行いました。世界で活躍するトップアスリートの泳ぎは、会場にいた全員の注目を集めました。

参加者の声

・初めての参加で、練習とは違う緊張感を感じました。
・パラリンピック日本代表の木村選手の泳ぎを見ることができてよかった。
・皆さんがベストを尽くす姿に感動しました。

介護予防「転ばぬ先のセラバンドセミナー」

11月5日(土)と12月3日(土)の両日に介護予防「転ばぬ先のセラバンドセミナー」を開催しました。

超高齢化の進展等による課題に着目した初めての試みとして募集したところ、キャンセル待ちが出るほどの人気で、ニーズの高さが伺えました。

講師には、立命館大学藤田研究室学生トレーナーに来ていただき、自宅で簡単にできる筋力アップの方法や筋力維持の運動方法についての講義と実技の指導をしていただきました。

参加者の声

・セラバンドを知るきっかけができたので大変良かったです。
・実際に使い方を指導してもらったので家でも続けられそうです。
・今日だけで達成できたとは思わないけれど、続ければできるはず。
・しっかりと筋力をつけたいと思う。

障害者週間啓発イベント

障害者スポーツ・レクリエーション体験イベント

11月27日(日)に「障害者週間啓発イベント」を開催しました。午前中は「体力づくり　身体を動かそう！」として当福祉センターアリーナでヨガ、バランスボール、セラバンドの体験と体組成測定を、午後からは「障害者スポーツにチャレンジ！」とし、バドミントンと車椅子バスケットボールの体験を行いました。また、小アリーナでは、午前・午後を通してスポーツ吹矢の体験、多目的ホールではリオデジャネイロパラリンピックに出場された滋賀県出身の3選手のパネル展示を行いました。

障害の有無に関わらず、イベントを通して身体を動かす楽しさを知るとともに、交流を深めていただくことのできた一日になりました。

参加者の声

- 選手の方と一緒にスポーツを楽しめて、家族みんなでよい汗を流すことができました。
- 普段体を使うことが少ないので、いきいきとバスケットボールを楽しむ姿が見れて親もうれしかったです。
- すごく元気になった。また、友人と交流もできた。
- 家にいることが多いけれど、積極的に外へ出て行こうと思いました。

清掃活動・予防訓練

12月1日(木)に、障害者週間啓発イベント(清掃活動・防災訓練)を開催しました。近隣施設やボランティアの方々等約150人の参加があり、障害の有無に関わらず全員が協力して取り組みました。

清掃活動では、福祉ゾーン一帯で行い、落ち葉で一杯だった歩道が、1時間程度で大変綺麗になりました。また、その後の防災訓練では、湖南消防署の方々にお越しいただき、防災講話を踏まえて、煙中体験と水消火器訓練を行い、日々の防災に対する意識を更に高めていただくことができました。

参加者の声

- 清掃活動をして、歩道が綺麗になり気分がすっきりしました。
- 消火器の取り扱い方法がよくわかりました。
- 煙の中を歩くのは怖く感じましたが、貴重な体験をすることができました。

第16回　全国障害者スポーツ大会「希望郷(いわて大会)」

10月22日(土)から10月24日(月)まで「広げよう 感動。伝えよう 感謝。」をスローガンに、第16回全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会」が岩手県で開催されました。

滋賀県から56人〔選手26人、役員30人(当福祉センターの指導員も含む)〕が参加し、合計35個のメダル(うち、大会新記録3、自己新記録11)を獲得することができました。

代表選手の中には当福祉センター「水泳選手育成教室」受講者の福井香澄さんも出場され日本新記録を出すなど大健闘されました。

今後も、当福祉センターとして障害者のスポーツの裾野を広げる取り組みや選手層を広げる取り組みを進めてまります。

皆様のご利用を職員一同心よりお待ちしております。

クイズコーナー

次の①～⑤のヒントを参考にして□の中の故事・ことわざをうめてください。最後に(A)～(E)の文字を順番に並べたものが答えとなります。

ご応募頂いた個人情報については、個人情報保護関係法令を遵守し、クイズコーナーの事務にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。

①	(A)		る			は	か		る			
②		い	お		(B)		ま					
③	と			り	の			(C)	ず			
④	て		で	(D)	う				い			
⑤		は		(E)	ほ	ど			の	を		う

ヒント

①なにごとも子は、親に似るものだということ。凡人の子はやはり凡人だというときにも使う。

②人間の吉凶・禍福は変転し、予測できないことのたとえ。

③老人が年齢にふさわしくない危険なまねや、出すぎた振る舞いをすること。

④どんな手段を用いても、がんとして動かないことのたとえ。また、どんなことがあっても、信念・主張を変えないことのたとえ。

⑤情のこもった目つきは、言葉で説明するのと同等に、相手に気持ちが伝わるものだということ。

《応募方法》

ハガキに住所、氏名、電話番号、クイズの答え、広報誌に対するご感想等をご記入の上、下記までご応募ください。正解者の中から、3人の方に、記念品をお送りします。また、広報紙に氏名が掲載されますので、ご了承ください。なお、応募の締め切りは、2月末日までの消印のあるものを有効とさせていただきます。

〒525-0072　草津市笠山八丁目５番130号
（公財）滋賀県身体障害者福祉協会　県身協クイズの係　まで

＊前回のクイズの当選者（応募総数：23通）
- 山脇由紀子 様（米原市）
- 西川　清子 様（大津市）
- 中井　　宏 様（守山市）

＊前回のクイズの答え　→　十五夜（じゅうごや）

①氏より育ち（うじよりそだち）
②九死に一生を得る（きゅうしにいっしょうをえる）
③備えあれば憂いなし（そなえあればうれいなし）
④花より団子（はなよりだんご）
⑤塵も積もれば山となる（ちりもつもればやまとなる）

読者からの声！

●今年は夏まつりに参加出来ませんでしたが、表1の和太鼓で楽しませていただきました。（日野町・女性）

●いろんな事業の告知や報告がどっさり、クイズコーナーも楽しみですが、編集後記に注目している一人です。（大津市・男性）

●夏まつりで三日月知事にお目にかかれ、幸せな気分になりました。私の風船どこまで飛んで行ったやら？（多賀町・女性）

●読みやすい広報なので、いつも楽しみにしています。（長浜市・男性）

●はじめて読ませてもらいました。こんなに色々なイベントがあるんですね。また利用したいです。クイズ楽しかった。（草津市・女性）

原稿募集

次号（第116号、3月10日発行）に伴う**原稿締切日は2月5日（日）**とさせていただきますので、よろしくお願いします。

毎週金曜日はノーマイカーデーです！

ワンコインエコパス(※)を使って週に一度はエコ通勤を！

※毎週金曜日に1乗車100円で「パス：県内全域／鉄道：近江鉄道全域」が利用できる証明書です。詳しくは滋賀県交通政策課ホームページをご覧ください。

びわこ京阪奈線（仮称）鉄道建設期成同盟会・琵琶湖横断エコ交通推進協議会

編集後記

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

「滋賀県身協」（第115号）ができあがりましたのでお届けします。

秋から12月にかけて、当協会では滋賀県身体障害者福祉大会、要望活動、障害者週間啓発・推進事業、また、当福祉センターでもグラウンドゴルフ大会、水泳記録会、障害者週間啓発イベントと大きな行事が続きました。無事終了できましたのも、地域や団体、ボランティアの皆様方のご協力があってこそと心より感謝申し上げます。

昨夏は4年に一度のオリンピック・パラリンピックがブラジルのリオデジャネイロで開催されました。パラリンピックでは当福祉センターゆかりの選手も出場され、私たちに多くの感動をあたえてくださいました。

また、「障害者差別解消法」が昨年4月に施行され、障害のある人もない人も共に暮らせる社会づくりが求められています。当協会としても、県民、事業者の方々への啓発活動とともに、県への条例制定要望に取り組んでいるところです。

最後になりましたが、本年が皆様にとって素晴らしい年になりますようお祈り申し上げますとともに、寒さ厳しき折、お身体にはどうぞお気をつけてお過ごしください。

（編集子）

編集発行　公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会　会長　中村　裕次　　滋賀県立障害者福祉センター　所長　山脇　治
〒525-0072　草津市笠山八丁目5番130号　電話：077-565-4832　FAX：077-564-7641
E-mail：info@kenshinkyo-shiga.com　http://www.kenshinkyo-shiga.com

印刷：社会福祉法人 いしづみ会　指定障害者サービス事業所 いしづみ